



## ドイツ

### 身近な食材で美容マスクの手作りを

●エコ・テスト出版「エコ・テスト」2020年1月号

[https://www.oekotest.de/kosmetik-wellness/Gesichtsmasken-Test-In-fast-jeder-zweiten-Maske-steckt-loesliches-Plastik\\_11039\\_1.html](https://www.oekotest.de/kosmetik-wellness/Gesichtsmasken-Test-In-fast-jeder-zweiten-Maske-steckt-loesliches-Plastik_11039_1.html)

[https://www.oekotest.de/kosmetik-wellness/Gesichtsmasken-selber-machen\\_11077\\_1.html](https://www.oekotest.de/kosmetik-wellness/Gesichtsmasken-selber-machen_11077_1.html)

●商品テスト財団「テスト」2019年2月号 <https://www.test.de/Tuchmasken-Feuchtes-Tuch-ist-kein-Faltenkiller-5428831-0/>

日光や乾燥、ストレスにさらされた肌の救世主となるのが、フェイスマスク(フェイスパック)である。ドイツではクリーム状、ジェル状など塗るタイプがおなじみだが、最近のトレンドは、韓国が発祥とされるシートマスクだという。美容成分が染み込んだシートを顔に貼るだけという手軽さが受けている。そこで、『エコ・テスト』では、塗るタイプ30商品、シートマスク21商品の計51商品を対象に、成分を中心とするテストを行った。

その結果、塗るタイプの約3分の2(19商品)、シートマスクの約半数(10商品)が、「非常に良い」または「良い」という高評価になった。特に、自然化粧品認証品では、「非常に良い」と評価された割合が高かったという。逆に、アレルギーを引き起こす可能性のある香料や、疑義ある抗菌・防腐剤を含む

10商品(塗るタイプ3商品、シートマスク7商品)に落第点が付いた。また、洗い流す手間が省けるシートマスクだが、環境配慮の観点からは問題が多いと指摘する。商品の個別包装が廃棄物となるばかりか、コットン等のシート自体も使用後は廃棄されるからである。

そこで、同誌が勧めるのが、台所の身近な食材を使った手作りマスクである。商品テスト財団の『テスト』も同意見で、特に重宝する食材としてクワルク(Quark)と呼ばれるフレッシュチーズを挙げる。クワルクを基本に、肌質によってペースト状のキュウリやアボカドを加え、顔に塗って15分ほど浸透させてから、ぬるま湯で流すという手順である。原料を自身で把握でき、分量も調節できるうえ、金銭的な節約になることが手作りのメリットだとする。



## オーストリア

### 風船は口で膨らませないで

●VKI「消費者」2020年3月号 <https://www.konsument.at/test-luftballone-schadstoffbelastung022020>

●連邦社会・健康・福祉・消費者保護省 健康ポータル <https://www.gesundheit.gv.at/aktuelles/nitrosamine-luftballons>

オーストリアの子どもの誕生パーティーに欠かせないのが、色とりどりの風船である。部屋の飾りつけや遊びの素材として使われ、誕生日を楽しく彩るアイテムとなっている。ところが、風船について気掛かりな報告もなされている。VKI(オーストリア消費者情報協会)が風船14商品をテストしたところ、4商品から欧州玩具指令の基準値を超えるニトロソアミンまたはニトロソ化可能物質が検出され、中には基準値の4倍に達する商品もあったという。

ニトロソアミンは食品やたばこ、化粧品などに広く含まれ、風船の材料となるゴム製品を製造する過程でも発生する発がん性物質である。同協会は、子どもにとって身近な風船から、基準値を超える発がん性物質が検出されたことに危機感を募らせる。風船を口で膨らませたり、手に取って遊ぶうちに、有

害物質がからだに取り込まれる可能性を否定できないからである。そこで、風船を膨らませるときは、口ではなく、ポンプを使ったほうがよいと助言する。

有害物質の少ない風船を選ぶポイントとして挙げるのが、臭いの少なさである。不快な臭いは有害物質を多く含む兆候であり、避けたほうがよいとする。また、誤飲すると窒息する可能性があることから、風船は小さな子どもの遊び道具としてはふさわしくないという見解をとる。

さらに、戸外で風船を飛ばす行為も無害ではないと指摘する。飛ばした風船の残骸が環境汚染につながるるとともに、野生動物が食べると命を落とす可能性があるからだという。このようなことから、同国では、風船を飛ばす行為を制限する州が多いとのことである。



## オーストラリア

## 森林火災の損害は保険で安心？

● CHOICE : ホームページ

<https://www.choice.com.au/money/insurance/home-and-contents/articles/choice-ceo-alan-kirkland-op-ed-bushfire-definitions>  
<https://www.choice.com.au/money/insurance/home-and-contents/articles/bushfire-cover-update>

2019～2020年にオーストラリアで頻発した森林火災による類焼面積は記録的で、地域社会のみならず、野生動物や消防隊員、自然環境への悪影響は計り知れない。経済損失は千億オーストラリアドル(約7兆円)超との予測もある。大災害の後に重要な役割を果たすのが保険だ。保険に何を期待するか尋ねられると35,000人以上が「火事でわが家が損害を受けたら保険金を請求できること」と即答した。

しかし、CHOICE(オーストラリア消費者委員会)が保険各社の26の住宅保険の商品開示文書にある「火災の補償条件」の定義を調べたところ、約70%は複雑過ぎて混乱を招く免責項目などがあり不公平であった。中でも25%は、炎以外、つまり煙やすす、高温による被害は補償されない、自宅から10m以内の建物が火災になった場合のみ補償、など加入者

の期待からは程遠い。望ましい契約条件はシンプルに「火災に起因する損害を補償する」というものだ。CHOICEは財務省に保険用語の明確な定義を求めするための署名を呼び掛けている。

ACCC(競争・消費者委員会)は企業・消費者間の契約で禁止されるUCT(不正な契約条件)を定めている。しかし保険業界は除外されており、UCTを保険会社にも適用すべきとする王立委員会の勧告を受けた政府は、2019年に改正案を発表した。

また、CHOICEは、森林火災への備えや被災時の心構えとして、●住居、家財すべてに補償不足が生じないように適宜見直しておく●解体やがれき撤去の費用、再建時に最新の建築基準に準拠するための追加建築費なども考慮●避難の際は保険書類を所持●被災状況の写真を撮る、などを助言している。



## メキシコ

## 肥満対策に食品の警告ラベルを義務化

● メキシコ連邦政府経済省: ホームページ

<https://www.gob.mx/se/articulos/fue-aprobada-la-modificacion-a-la-nom-051-sobre-etiquetado-de-alimentos-y-bebidas>

● El Poder del Consumidor: ホームページ

<https://elpoderdelconsumidor.org/2020/01/el-etiquetado-de-advertencia-aprobado-fue-resultado-de-la-participacion-democratica-de-todos-los-sectores-y-con-apego-a-la-mejor-evidencia-cientifica/>

メキシコでは成人の7割以上、子どもの4割弱が肥満で、毎年約17万人が心臓病、約10万人が糖尿病で死亡するという。いずれも肥満が大きな原因だ。経済的損失はGDPの5.3%、13億ペソ(約78億円)に上るといふ(OECD試算)。

政府は国民の肥満対策のため、2014年に砂糖税の導入に加え、加工食品および非アルコール飲料の包装の表面に、エネルギー量や糖分・塩分・脂肪(飽和脂肪酸ほか)の100g当たりの数値と1日摂取量に占める割合(GDA)を表示するラベルを導入した。しかし、国民のほとんどは理解できないことが明らかになった。

メキシコの消費者団体などは、GDAラベルは専門家の検討会での議論もなく業界の自主基準をそのまま援用したと批判し、WHO(世界保健機関)、

FAO(国連食糧農業機関)、ユニセフなどが提唱しチリやペルーで成果が実証されている容器正面の警告表示をメキシコでも導入するよう活動してきた。カロリーや糖分、脂肪など健康を害する成分が保健省の定める基準値より多い食品に「カロリー過剰」「糖分過剰」といった文言の警告シールの貼付を義務づけるもので、細かな数字などの表記がなく消費者は即時に理解し選択できるという。このための「保健一般法の改正案」が、新NAFTA(北米自由貿易協定)の交渉過程において同法の改正禁止を画策するなどの業界の反対を退け2019年10月に上院で可決した。2020年1月に、表示デザインの細かい内容の修正も承認され、経済相は「これは国民の生命と国の経済競争力を損なう肥満エピソードに立ち向かう政府の確かな一歩である」としている。